

令和2年6月定例会 請願審査報告書

本委員会に付託された請願は、審査の結果、次のとおり決定しましたから、徳島県議会会議規則第94条第1項の規定により報告します。

令和2年7月6日

徳島県議会議長 寺井正邇 殿

総務委員長 浪越憲一

受理番号	受理年月日	件名・要旨 (紹介議員氏名)	提出者 住所 氏名	審査結果	備考
9の1	令和2. 6.8	『ひとりひとりを大切にするゆきとどいた教育について』 子どもたちのひとりひとりが大切にされ、安心して学べるよう、次の事項について配慮願いたい。 ① 私立高校の高校授業料減免制度の適用を拡大すること。 (山田豊 達田良子 扶川敦)	ゆきとどいた教育をめざす徳島県連絡会代表者 山本 正美 外1名	不採択	

不採択の理由

受理番号	件名及び理由
9の1	『ひとりひとりを大切にするゆきとどいた教育について』 年収が590万円未満の世帯では無償化がなされ、590万円から750万円未満の世帯は授業料の半額の助成と、制度としてかなり充実したものとなっており、厳しい県財政状況の中、十分な支援がなされていると考えますので、御要望には沿えません。

令和2年6月定例会 請願審査報告書

本委員会に付託された請願は、審査の結果、次のとおり決定しましたから、徳島県議会会議規則第94条第1項の規定により報告します。

令和2年7月6日

徳島県議会議長 寺井正邇 殿

文教厚生委員長 須見 一 仁

受理 番号	受 理 年月日	件 名 ・ 要 旨 (紹 介 議 員 氏 名)	提 出 者 住所 氏名	審 査 結 果	備 考
9の2	令和2. 6.8	<p>『ひとりひとりを大切に作るゆきとどいた教育について』</p> <p>子どもたちのひとりひとりが大切にされ、安心して学べるよう、次の事項について配慮願いたい。</p> <p>① 教職員の長時間過密労働解消に向け、県独自に正規採用教職員を増やすこと。</p> <p>② 小中学校の30人以下学級を実現すること。また、その実現を国に働き掛けること。</p> <p>③ さらに就学援助を拡充すること。</p> <p>④ 給付型奨学金制度を拡充すること。</p> <p>⑤ 特別支援学校の過大・過密を解消するために学校・学級数を増やすこと。また、その設置基準を策定するよう国に働き掛けること。</p> <p>⑥ 全ての県立学校にエレベーターを設置すること。</p> <p>⑦ 給食費などの義務教育費無償化を国に働き掛けること。</p> <p>⑧ 県下の小学校に英語の専門教諭を配置すること。</p> <p>⑨ 新型コロナウイルス感染症の防止対策として、密を解消するために小中学校の一クラスの学級定員数を減らすよう国に働き掛けること。また、教職員増を国に働き掛けること。</p> <p>⑩ 児童生徒の心のケアや学びを支援するためにスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを増員するよう国に働き掛けること。</p> <p>(山田豊 達田良子 扶川敦)</p>	<p>ゆきとどいた教育をめざす徳島県連絡会代表者 山本 正美 外1名</p>	不採択	

不採択の理由

受理 番号	件 名 及 び 理 由
9の2	<p>『ひとりひとりを大切にすゆきとどいた教育について』</p> <p>①については、教員の事務作業負担等の軽減を目的としたスクールサポートスタッフ制度が導入され、教員の働き方改革促進に向けて取り組んでいることから、御要望には沿えません。</p> <p>②については、小学校1年生から中学校1年生は、少人数学級編制を実施しており、中学校2年生・3年生についても、実質的に少人数学級が実現できていることから、御要望には沿えません。</p> <p>③については、実施主体は市町村であり、市町村に対し国からの情報をしっかりと伝える等、適切に対応しているため、御要望には沿えません。</p> <p>④については、授業料以外の低所得世帯の教育費負担を軽減する給付金は、年々、支給額が増額されております。また、授業料については、公立高校に通う多くの高校生は実質無償となっていることから、御要望には沿えません。</p> <p>⑤については、学校の新設や学級数の増設をしており、適切に対応しているため、御要望には沿えません。</p> <p>⑥については、ユニバーサルデザインの推進と、障がいのある生徒の受入れに際して、必要な設備の整備に取り組んでいることから、御要望には沿えません。</p> <p>⑦については、学校給食は法律により、食材費などの経費を保護者が負担することになっております。また、経済的理由により、就学が困難であると認められる児童生徒の保護者に対しては、学校給食費を援助する制度や学用品費、修学旅行費等の援助を行う制度が定められていることから、御要望には沿えません。</p> <p>⑧については、英語授業の中心となる学級担任の英語指導力の向上や、市町村のニーズに応じて英語専科教員の配置に取り組んでいることから、御要望には沿えません。</p> <p>⑨については、各学校において、「新しい生活様式」の実践が行われております。また、感染症対策に活用できるスクールサポートスタッフの増員や、学習の遅れ対応等のための学習指導員の配置について検討しておりますので、御要望には沿えません。</p> <p>⑩については、スクールカウンセラーを県内の全ての公立小中学校及び県立学校に配置・派遣できる体制が整備されております。また、スクールソーシャルワーカーについては、学校からの要請による派遣のほか、市町村教育委員会に定期的に派遣する体制が整備されているため、御要望には沿えません。</p>

令和2年6月定例会 請願審査報告書

本委員会に付託された請願は、審査の結果、次のとおり決定しましたから、徳島県議会会議規則第94条第1項の規定により報告します。

令和2年7月6日

徳島県議会議長 寺井正邇 殿

防災・感染症対策委員長 福山博史

受理番号	受理年月日	件名・要旨 (紹介議員氏名)	提出者 住所 氏名	審査結果	備考
9の3	令和2. 6.8	<p>『ひとりひとりを大切にするゆきとどいた教育について』</p> <p>子どもたちのひとりひとりが大切にされ、安心して学べるよう、次の事項について配慮願いたい。</p> <p>① 新型コロナウイルス感染症の防止対策として、児童生徒や教職員の命を守るためのマスク、使い捨て手袋、消毒液、非接触型体温計などを全国の学校に十分に備えることができるよう国に働き掛けること。</p> <p>② 今後の休校に備えてオンライン授業ができる環境を早急に構築し、家庭のインターネット環境に配慮して貸出しのできるパソコンやタブレットなどを備えることができるよう国に働き掛けること。</p> <p>(山田豊 達田良子 扶川敦)</p>	<p>ゆきとどいた教育をめざす徳島県連絡会代表者 山本 正美 外1名</p>	不採択	

不採択の理由

受理番号	件名及び理由
9の3	<p>『ひとりひとりを大切にするゆきとどいた教育について』</p> <p>①については、国の第1次及び第2次補正予算により、学校における感染防止のための保健衛生用品の購入の支援に必要な経費が措置され、市町村に対し国からの情報をしっかりと伝えるなど、適切に対応しているため、御要望には沿えません。</p> <p>②については、県立高校、中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部において、児童生徒一人1台の情報端末を令和2年度中に整備する予定であるため、御要望には沿えません。</p>